

業績目録の記載に関する注意

論文、著書、学会発表に区分し、それぞれ新しいものより年代順（西暦で表示）に番号を付け記載し、本人の氏名にはアンダーラインを付すこと。

① 論文は次のように区分する。

（イ）欧文原著 （ロ）欧文症例報告 （ハ）欧文総説

（ニ）和文原著 （ホ）和文症例報告 （ヘ）和文総説

（注1）別刷（主要論文10編）を提出するものには番号を○で囲むこと。

（注2）手術手技などに関わる報告（テクニカルノート等）や video article などは総説に記載すること。

② 著書は単著、共著、分担執筆の別に区分する。

③ 学会発表は、国内外に区別し、特別講演、シンポジウム、一般演題（代表的なもののみ）等に区分する。

【記載様式】

① **論文**：論文の全著者名、発行年、題名、雑誌名、巻、初頁－最終頁を記載し、最新の impact factor を付記すること。また、自身が Corresponding author の場合には著者名の右に*印を付記すること。なお、著者名欄には、著者の氏名を掲載順に従って全て記載すること。

（例）Julius M, Simpson E*, Herzenberg L. (1973) A rapid method for the isolation of functional thymus-derived lymphocytes. Eur. J. Immunol. 3:645-649. (IF : 3.3)

② **著書**：著者名、発行年、題名、著書名（分担執筆の場合は編者名）、版、初頁－最終頁、出版社名、（出版社所在地）を記入すること。

（例）Pink JRL, Lassila O, Vainio O. (1987) B-lymphocytes and their self-renewal. In Avian Immunology. Toivanen A, Toivanen P, eds. CRC Press Inc.(Boca Raton, FL). 65-78.

③ **学会発表**：発表者名（5名までの場合は全員の氏名を記載する。5名を超える場合は、筆頭発表者のみの名前を記載した後、申請者が全発表者の何番目に相当するかを示すこと）また、演題名、学会名（場所）、発表年月を記入すること。

（例）Takaku S, et al. (6th out of 6): Induction and analysis of cytotoxic T lymphocytes against hepatitis C virus (HCV) structural antigens using HCV transgenic mice with Cre/Lox-P switching expression system. 11th International Congress of Immunology (Stockholm, Sweden). July, 2001.

※ ① ワープロ又はタイプ印刷とすること。

② 印刷中の業績については、印刷中と明記し掲載証明書を添付すること。